

コンプライアンス研修 ハラスメントの未然防止について

事例

A教頭は、新任のB教諭の教科指導力を伸ばそうと指導していたが、A教頭の求めるような授業をB教諭がなかなか展開出来なかったため、次第に言葉が厳しくなり、ついには「役立たず」「教員を辞めたらどうだ」などと、しつこく発言するようになった。また、B教諭が些細なミスをしたときにも、「だから君はダメなんだ」と周囲に聞こえるような大声で叱責した。B教諭は反論したい時もあったが、言い返す勇気が出なかった。さらに、A教頭は周囲の教員にも「B先生はダメだ。やる気がない」と度々言っていた。B教諭はA教頭の感情的な態度や発言に悩み、誰にも相談できず、次第に勤務を休みがちになっていった。

Q1 この事例でA教頭のどのような点に問題があったのでしょうか。



Q2 学校でどのようなことに取り組んでいれば、A教頭のパワーハラスメントを未然に防ぐことができたのでしょうか。

○世の中のハラスメントはたくさんあります。

ハラスメント 例

エイハラ	年齢を差別し嫌がらせをする行為
エンハラ	仕事は楽しいものだと思うことを強要する行為
エアハラ	社内などでエアコンの設定温度によって他人の体調を損なわせてしまう行為
スメハラ	匂いで他人に不快な思いをさせてしまう行為
グルハラ	食事の際に自分のこだわりの食べ方を相手に強要する行為
マリハラ	単身者に対して交際や結婚することを必要以上に勧めたり強要する行為
テクハラ	パソコンやスマートフォンなどのテクノロジーに詳しい人がそうでない人に対して嫌がらせをする行為